

仏教章授与式の感想

「ボーイスカウトと宗教」

BS 京都第 50 団
(17NSJ 京都第 3 隊副長)

上田 敬哉



この度、第 17 回日本スカウトジャンボリーに派遣隊の指導者として参加し、さまざまな経験をさせていただきました。1 週間という短期間にもかかわらず、冒険・勇敢・挑戦・発見・努力・未来と多くのことを学ぶことができ、それらは私のボーイスカウト活動への考え方や意欲に変化をもたらしました。

中でも、信仰奨励の教宗派の集いにおける「本願寺派スカウトのつどい」に参加した際、いくつもの貴重な経験、発見をいたしました。私は今年度、仏教章を修得させていただいたのですが、このつどいの中でご門主様から直接仏教章を授与していただきました。一緒に研修を受けた仲間とともにご門主様から授与していただいた際は、感動で胸が熱くなりました。また、仏教章修得者を代表してスカウト宣言をさせていただき、貴重な経験を得たと同時に一層の精進に努めたいと強く思いました。

さらに、この「本願寺派スカウトのつどい」に参加する前、派遣隊のスカウトの中に信仰している宗教がないという子どもがいたため、私の勧めで本願寺派のつどいに参加したところ、これまでお念仏すら唱えたことがなかったにも関わらず、熱心におつとめに参加し、ご門主様のお言葉に耳を傾けていました。その姿を目にして、仏教のわかりやすさ(入りやすさ)を改めて感じました。最初は誰しもお釈迦様が何なのかは知りません。南無阿弥陀仏の意味も分かりません。それでも、真剣に手を合わせてお念仏を唱えれば、その子は立派におつとめができたと思えます。

ボーイスカウトでは信仰奨励がスカウト教育の基幹をなしていることは言うまでもありませんが、今回の集いに参加したことで、宗教章取得者が率先して信仰に励み、ほかのスカウトの模範となることでスカウト活動全体の活性化につなげていくことが、私たちの使命であると気づきました。

最後になりますが、関係者の皆様、貴重な経験をありがとうございました。

弥栄

編集後記

組織拡充・広報委員長

高倉 健司

ジャンボリー特別号に寄せて

4 年に 1 度のスカウトの祭典、第 17 回日本ジャンボリーが石川県珠洲市にて開催され、全国 17,000 人のスカウトが集い、友情の輪を広げてゆきました。

宗教ブースの中にある本願寺派スカウトのブースも大変な賑わいを見せ、宗教儀礼の本願寺派スカウトのつどいにも約 1800 人の仲間が集まりました。本願寺派スカウトの仲間が全国にこんなにもいる事に感動しました。

スカウトとして参加できるのは一生に一度の貴重な経験です。だからこそ参加させてくださったご両親に、準備し、引率くださったリーダー達に感謝の心を忘れずに楽しいお土産話を沢山してあげてくださいね。

2019 年度 第 7 回本願寺派 スカウトキャンポリー (7HSC) について

【開催日】2019 年 8 月 4 日(日)～7 日(水)[3 泊 4 日]

【テーマ】よろこぼう「であい」を 輝かそう「いのち」を

【会場】三島市立箱根の里

【募集人員】1,000 名(野営区 600 名、舎営区 400 名)

【参加費】12,000 円

※詳細が決定次第、各登録団に募集要項を送付します。

●スカウトニュース 復刊第 9 号

【発行日】2019(平成 31)年 2 月 1 日

【発行】浄土真宗本願寺派スカウト指導者会

京都市下京区堀川通花屋町下ル 浄土真宗本願寺派事務所 寺院活動支援部 組織教化担当内

TEL(075)371-5181(代表) FAX(075)351-1211 <http://scouto.hongwanji.or.jp/>

Scout News

■ 第 17 回 日本スカウトジャンボリー開会式

■ 本願寺派スカウトのつどい

■ 本願寺派スカウトブース

■ 仏教章授与式の感想



第17回 日本スカウトジャンボリー開会式

2018(平成30)年8月5日(日)19:00~20:15
会場：珠洲 りふれっしゅ村鉢ヶ崎 アリーナ



開会式次第

- 一、開式の言葉
- 一、県連盟旗・参加国旗入場
- 一、開会宣言
- 一、国旗掲揚・諸旗掲揚
- 一、ちかいとおきて唱和
- 一、来賓挨拶
- 一、石川県知事 挨拶
- 一、点火式
- 一、日本連盟特別顧問 大谷光淳門主 挨拶
- 一、閉式の言葉



開会式お言葉

昨日から始まっています「第17回日本スカウトジャンボリー」は、本日、最初の公式行事である開会式を迎えました。8月10日までの期間中、事故がないように気を付けながら、平素培われたスカウト訓練の成果を十分に発揮して、精一杯楽しんでくださることを願っています。

先月、日本においては、西日本を中心とした「平成30年7月豪雨」によって多くの方が犠牲となりました。また、世界各地では、自然災害や食糧危機、地域紛争などによって、幼い子どもを含む多くの方が犠牲となっています。これらすべての方に哀悼の意を表しますとともに、世界のすべての人々が平和の裡に暮らしていけることを願ってやみません。

さて、このたびは自然環境豊かなここ能登の地で、「冒険～能登のチカラ未来へ～」というテーマで開催されます。私たちは、私たちが住む地球環境を護り、また私たちのスカウト活動を継続、発展させていくために、自分たちの持てる力を未来へと繋げていかなければなりません。そして、その未来は突然に出来上がるものではなく、今日この今の瞬間から繋がっています。それは一日一日の積み重ねであり、私たちの行動一つ一つの積み重ねです。

先ほど申しましたように、世界各地には、さまざまな理由で命の危機、死の恐怖に脅かされている人や将来を思い描くことができない人が大勢います。そのような中で私たちがスカウト活動に取り組み、今日こうして日本スカウトジャンボリーに参加できていることは当たり前のことではありません。そして、今、皆さんの隣にいる人として出遇ったことも当たり前ではありません。

皆さまには、一つ一つの出遇いや出来事を大切に、このジャンボリーを過ごしていただきたいと思います。そして、この貴重な体験を糧にして未来の私・未来のスカウト活動・未来の地球へと繋げてまいりましょう。本日はようこそご参加くださいました。

ボーイスカウト日本連盟特別顧問
浄土真宗本願寺派門主
大谷光淳



本願寺派 スカウトブース

2018(平成30)年8月6日(月)～9日(木)

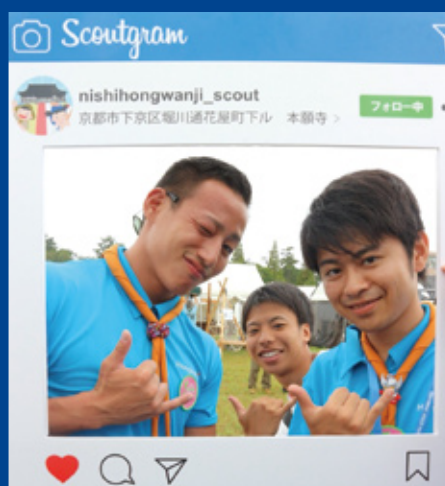
浄土真宗本願寺派としてブースを運営し、西本願寺をスカウトに紹介しました。
お勤めや法話を定期的に実施し、信仰奨励章の細目認定を行いました。
トリックアートも好評でした。



ブースには多くのスカウトが足を運んでくれました



他宗派の出展ブースとも交流



東京仏取の会を中心にチームワーク良くブース運営されました



インスタボードも大好評



【ブース来場記念品】



ワッペン

本願寺派スカウトのつどい

Hongwanji-ha Scout Gathering

2018(平成30)年8月7日(火)10:30~11:30

会場：珠洲市営鉢ヶ崎テニスコート

1,800名のスカウトが参加し、浄土真宗のみ教えを自身のスカウト活動に活かしていくことを確認し合いました。



式次第

- 一、開式の言葉
- 一、合掌・礼拝
- 一、真宗宗歌
- 一、ご門主様お焼香
- 一、敬礼文・三帰依・念仏
- 一、ご門主様お言葉
- 一、スカウト指導者会
土山和雅理事長挨拶
- 一、仏教章授与式
- 一、本願寺派スカウト宣言
- 一、BS日本連盟信仰奨励委員会
村上智真委員長挨拶
- 一、恩徳讃
- 一、合掌・礼拝
- 一、閉式の言葉



ご門主様お言葉

皆さまには第17回日本スカウトジャンボリーに際し、ようこそ本願寺派スカウトの集いにご参加くださいました。日本においては、先月の「平成30年7月豪雨」によって多くの方が犠牲となりました。また、世界各地では、自然災害や食糧危機、地域紛争などによって、幼い子どもを含む多くの方が犠牲となっています。これらすべての方に哀悼の意を表しますとともに、世界のすべての人々が、平和の裡に暮らしていけることを願いたします。

さて、このたびのジャンボリーは、「冒険～能登のチカラ未来へ～」というテーマで開催されています。開会式でお話しましたように、皆さんの一日一日が未来へ繋がっています。本願寺派スカウトの皆さんには、仏教や浄土真宗の教えに触れることで、真実に基づいた生き方を考えていただきたいと思います。

仏教は今から約2,500年前にインドでお釈迦様によって説かれました。お釈迦様が説かれたのは、この世界のありのままの真実、それは例えばすべての物事は互いに相寄り合って存在しているという「縁起」という真実で、これは2,500年前も現代でも変わることはありません。しかし、私たちは常に自分中心の思いにとらわれていて、この真実を真実として受け止めることができません。

親鸞聖人が説かれた浄土真宗は、ありのままの真実に基づく阿弥陀さまのおはたらきを聞くことで、私の自己中心性を知らされるというみ教えです。しかし、そのことによって私たちは、この世界で他の人々と互いにつながり合いながら存在していることに気づかされ、このご縁を大切に生きていく方向へと導かれるのです。皆様にはボーイスカウト活動を通して、このことを実感していただきたいと思います。

どうぞ、10日までのジャンボリーを事故に気を付けて楽しく過ごしてください。そして、この貴重な体験を今後のスカウト活動に繋げていただきたいと思います。

本日はようこそ参加くださいました。

浄土真宗本願寺派門主
大谷光淳



本願寺派スカウト宣言

わたし の と おお し ぜん す し はち が さ き つど
私たちは能登のたいなる自然につつまれた珠洲市鉢ヶ崎に集いました。
わたし かつどう とお あ み た で あ あ み た ところ
私たちはスカウト活動を通して、阿弥陀さまに出会い、阿弥陀さまのお心を
聞かせていただく身とならせていただきました。
その喜びの中、次の宣言をいたします。

「阿弥陀さまのお心にかなうよう、精一杯報恩感謝の毎日を過ごさせていただこう」

第17回日本スカウトジャンボリー 「本願寺派のつどい」にあたり、
この言葉を皆さんと共有するために、ここに宣言いたします。

2018(平成30)年8月7日

第17回日本スカウトジャンボリー 参加者一同

【つどい参加者記念品】



カラビナ付ペットボトルホルダー



本願寺派スカウトのつどい しおり